NIE実践報告

1．タイトル：マスコミ特講における新聞を使った授業

2．学校名

立命館慶祥中学校・高等学校

3．実践者名（代表者名）

細川　典敬

4．学年

高校1年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

学校設置科目・13名

6．単元（本時の学習課題）名

臓器移植

7．目標（狙い）

臓器移植についての自らの考えをまとめる。

8．評価の視点

プリントの最後に「あなたは臓器を提供するか」という問いについて論理的に自らの意見を述べることができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

臓器移植関連で2時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

本校は高校3年生で内部進学を希望する生徒を対象としたマスコミ特講という授業を展開しています。週2単位です。前期をNIE（新聞を中心とした学習）にあてています。前期の期間中に展開されたテーマは、普天間基地移設問題、臓器移植、菅首相所信表明演説、憲法記念日社説比べの5テーマに照準を当てています。

本日は5月25日から朝日新聞の連載「患者を生きる　息子のドナーカード」を読み展開された。
①感想の交流　②脳死と臓器移植の問題点　③あなたは臓器を提供するか
の3つの問いにかけについて意見交換をし、自らの意見を発表する形をとった。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「全部提供します」「親にすべてを委ねます」「他人の体の中でまで自ら生きたいとは思わない」賛否両論がでました。答えはありませんが、問題点・論点については認識できたと感じています。

12．成果と課題

このような授業を展開し、実際に見聞きすることが大切であると考えます。この新聞記事についての考察までを新聞社とともに行ったというのが実際であり、「取材をする」ところまでたどり着いていません。このように、最後に「取材をする」「本物の話を聞く」まで到達できるような授業計画が立てられればいいと考えています。